

大腸癌研究会プロジェクト  
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究1（日米共同） pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準（大腸癌治療ガイドライン）」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成  
研究2（日英共同） pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究（Formula One Study）

### 第3回会議議事録

平成 29 年 7 月 6 日

四日市都ホテル 4F 伊勢（竹）

#### ■出席者【50 音順】

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一（欠席）
- 委員：味岡洋一、池松弘朗、石黒めぐみ、浦岡俊夫、應田義雄、岡 志郎、梶原由規（事務局）、金光幸秀、河内 洋、小嶋基寛、小林宏寿、斎藤 豊、島崎英幸（欠席）、関根茂樹、中村好宏（欠席）、高松 学、田中信治、山野泰穂、藤盛孝博（欠席）、渡邊聡明（欠席）
- オブザーバー：PCL JAPAN（石黒信吾）、がん研有明病院（井出大資、斎藤彰一）、国立がん研究センター中央病院（落合淳志、山田真善）、東京医科歯科大学（石川敏昭）、奈良県立医科大学（岸本光夫）、新潟大学（Annenkov Alexey、大内彬弘、近藤修平、杉野英明、高村佳緒里、谷 優佑）、日本医科大学（秋元直彦）、広島大学（田丸弓弦）、福島県立医科大学会津医療センター（富樫一智）、山形県立中央病院（須藤 剛、林 啓一）、防衛医大（神藤英二、末山貴浩、長谷和生、望月早月、望月英隆、山寺勝人、米村圭介）

#### ■会議内容

##### 1. 研究1の進捗状況の報告および討議

###### (1) 研究方法の変更

新倫理指針へ対応および研究データの精度管理を目的に、大腸癌研究会参加施設を対象としたアンケート方式のデータ収集から委員会参加方式（委員会参加施設からのデータ提出）へ変更することを全会一致で決定した。

###### (2) 症例集積目標

nomogram 作成の精度向上を目的として、多くの症例を集積するため、委員会終了後の約 2 週間をめどに本委員会への新規参加施設、新規委員を大腸癌研究会世話人会と施設代表者会議で募ることが了承された。

###### (3) データ集積期限

第 88 回大腸癌研究会で解析結果を報告できるよう、データ集積期限を平成 29 年 12 月 31 日とすることを決定した。

###### (4) 新規参加施設

新規参加施設として推薦された秋田赤十字病院 消化器病センター（内科 松下弘雄先生）が承認された。

##### 2. 研究2の進捗状況の報告

###### (1) データ提供施設

デジタルスライド作成に関する施設アンケートの提出可能症例数から、データ提供施設を国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、がん研有明病院、防衛医科大学校として開始することを報告した。

###### (2) デジタルスライド作成期限

各施設における倫理委員会承認までに時間を要しているため、各施設でのデジタルスライド作成期限を 10 月末とし、12 月からの病理所見評価開始を目指すことを報告した。